



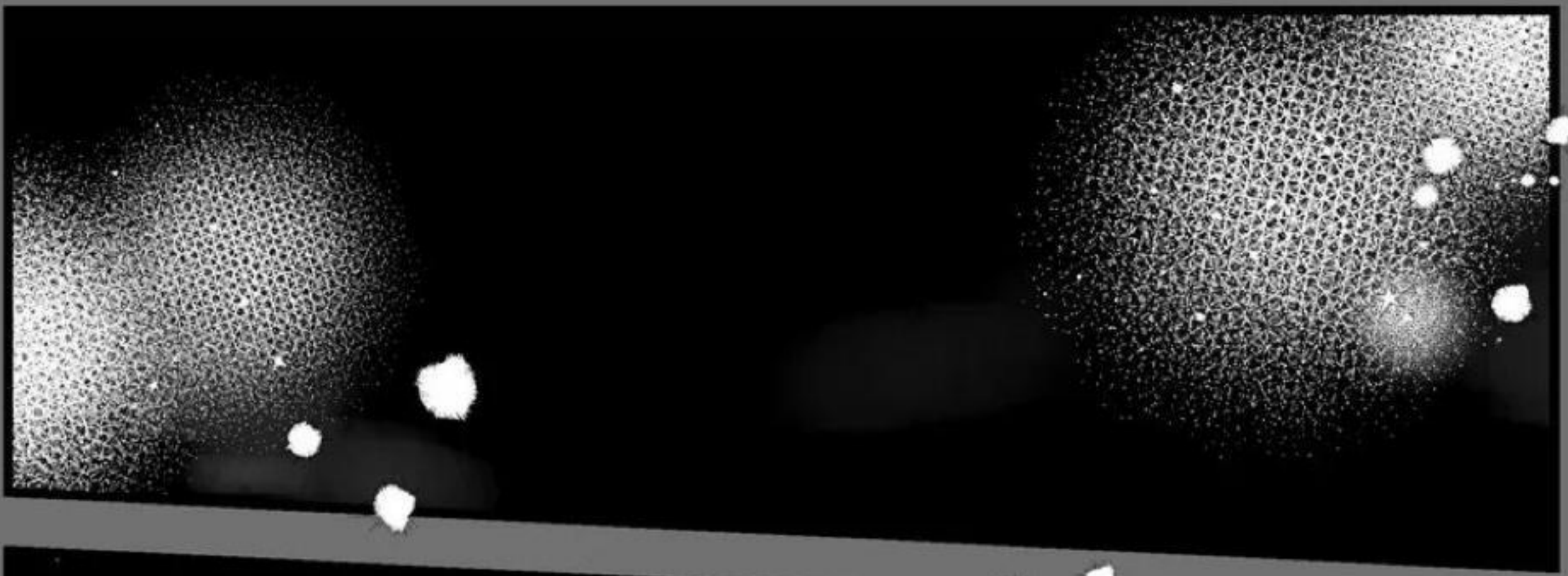
*From Midnight*

R-18

ADULT ONLY



*From Midnight*





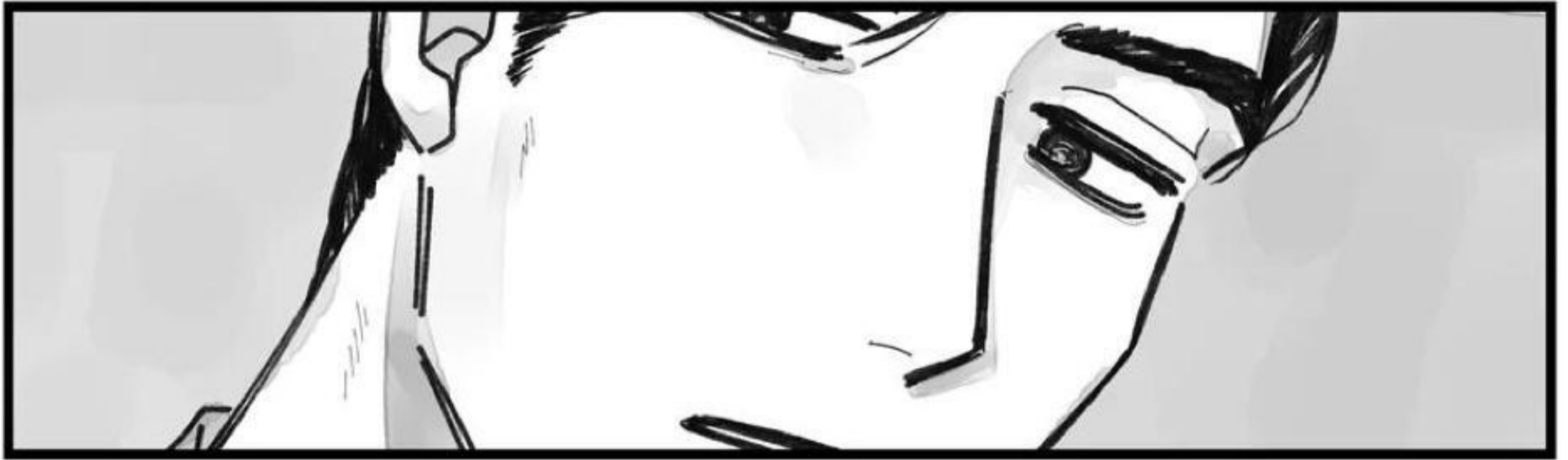
















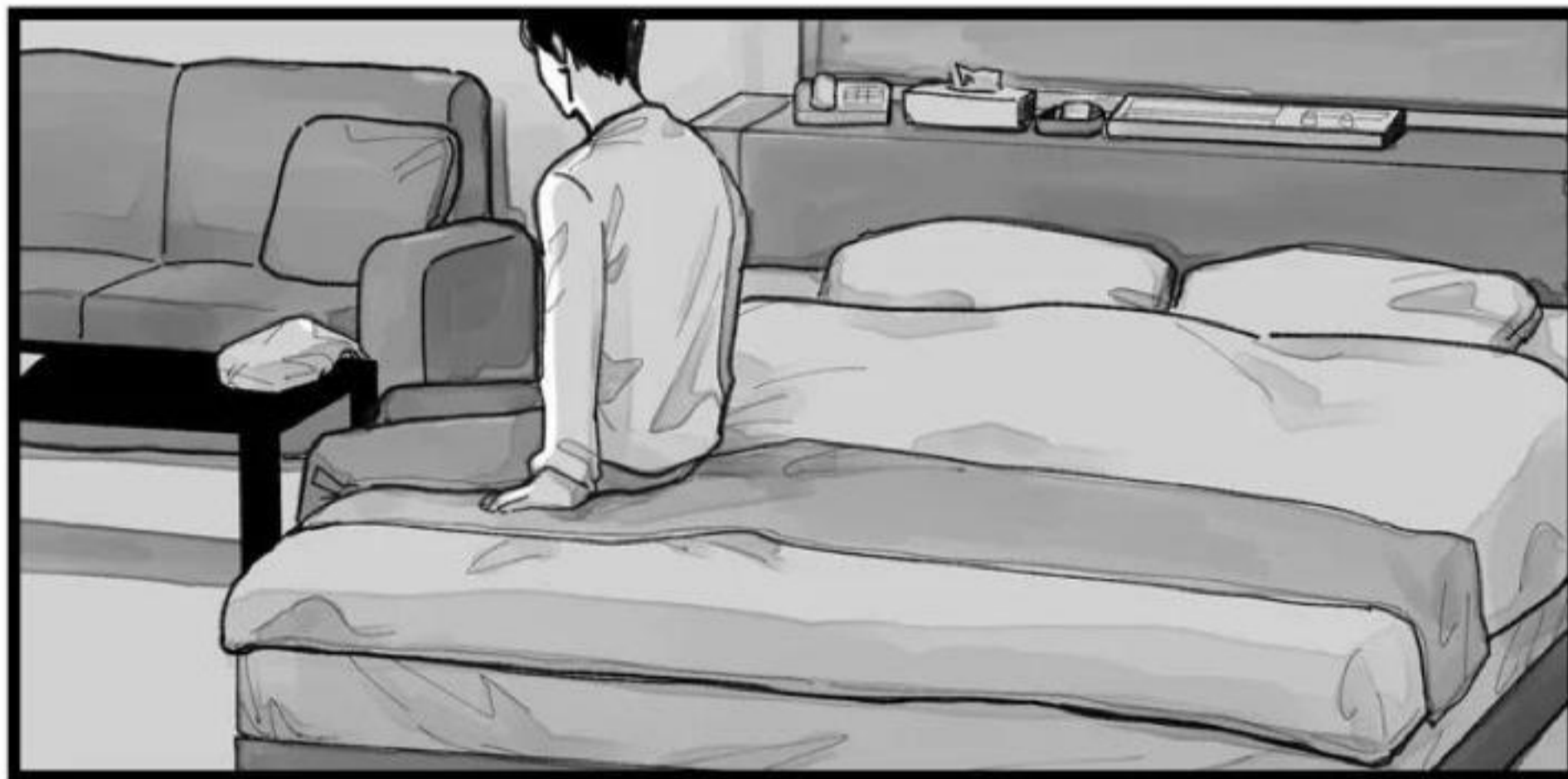






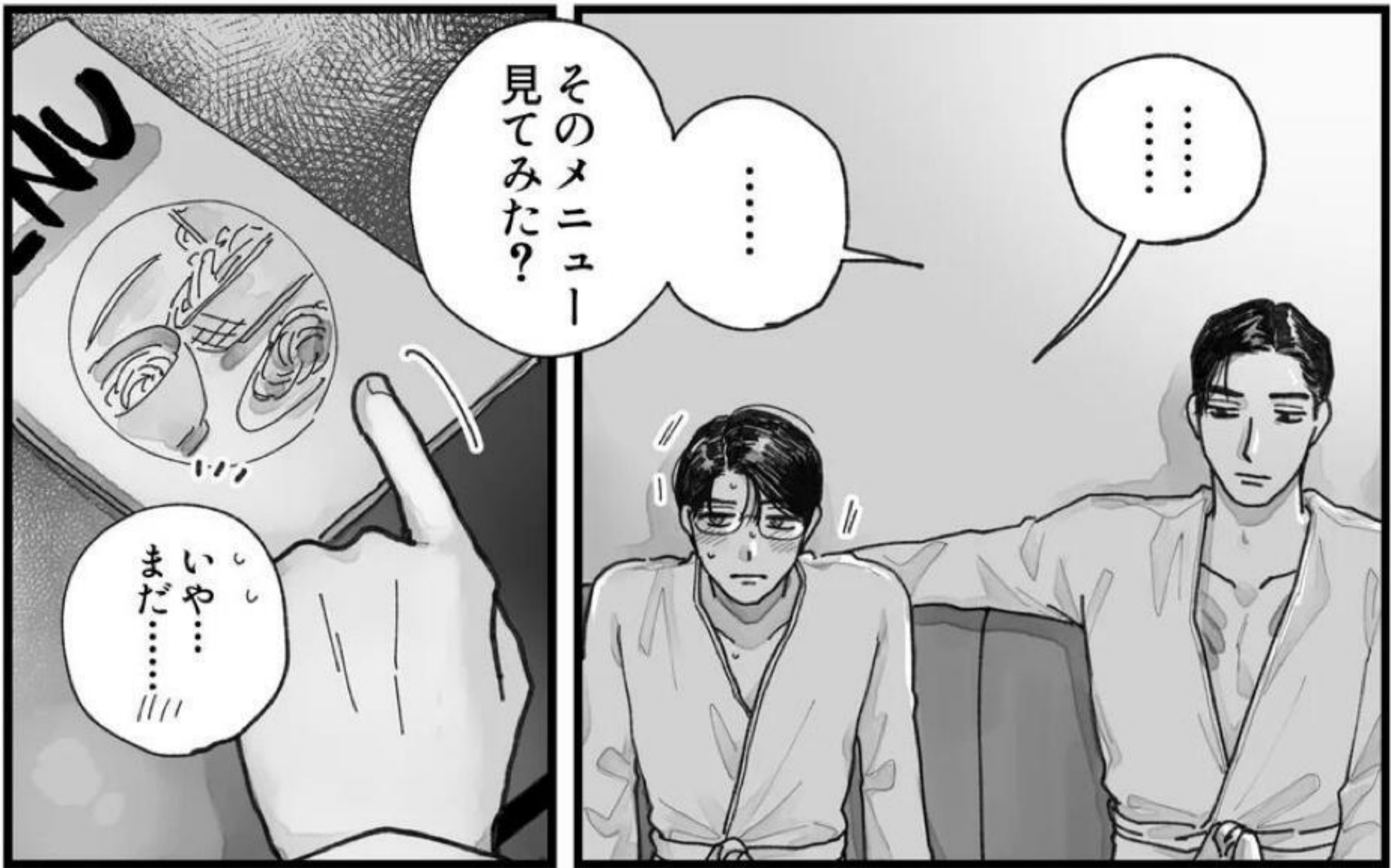


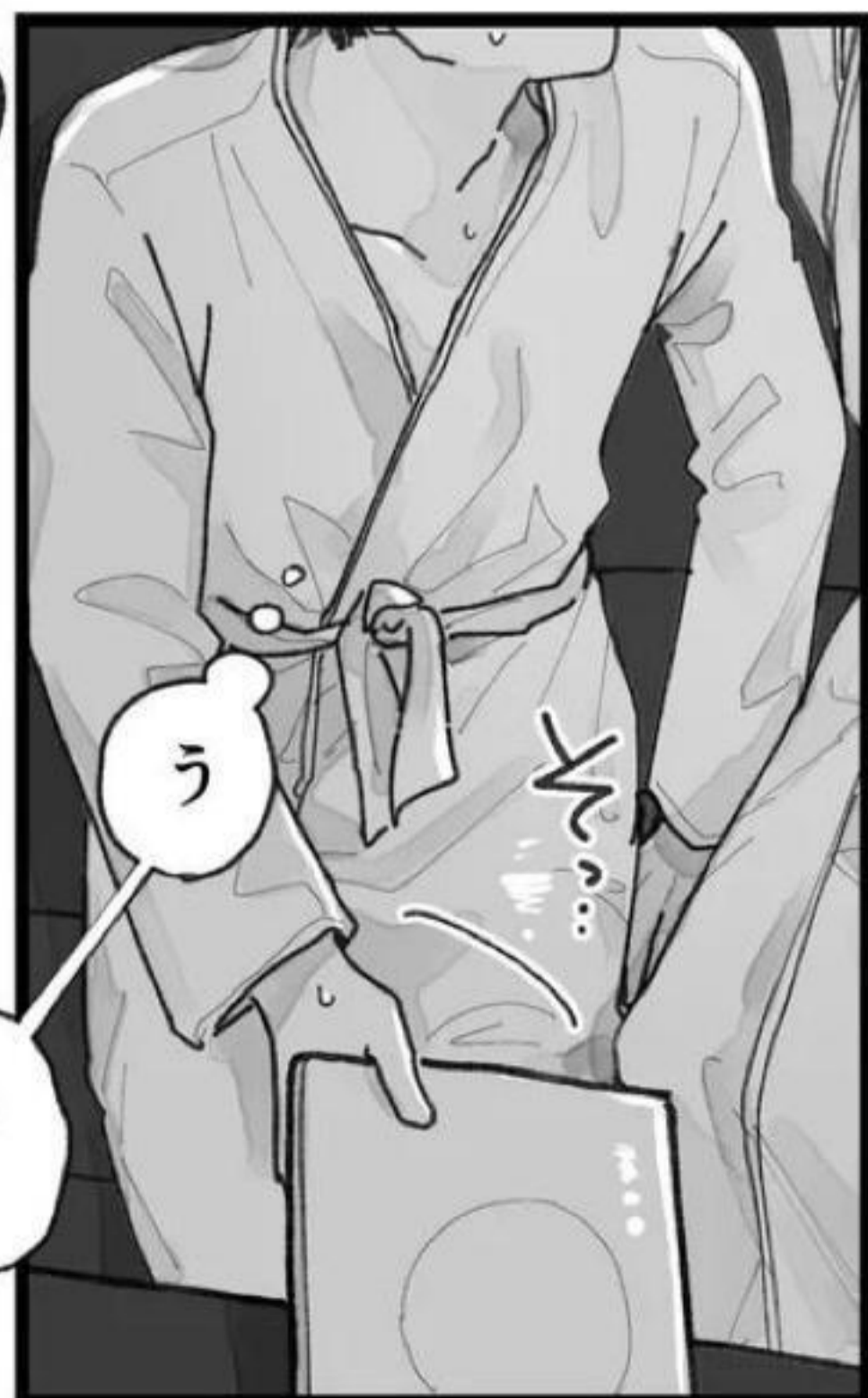




















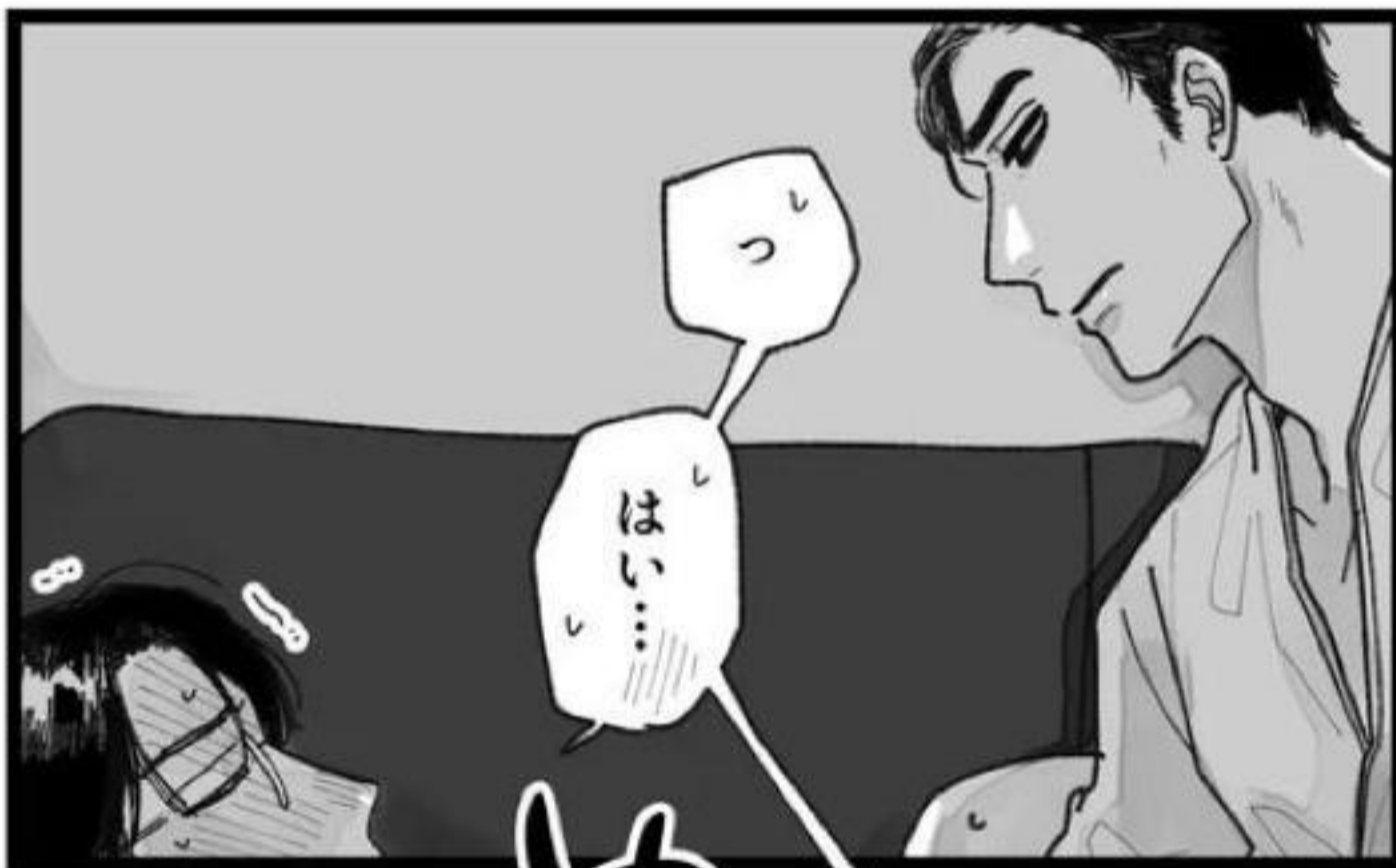
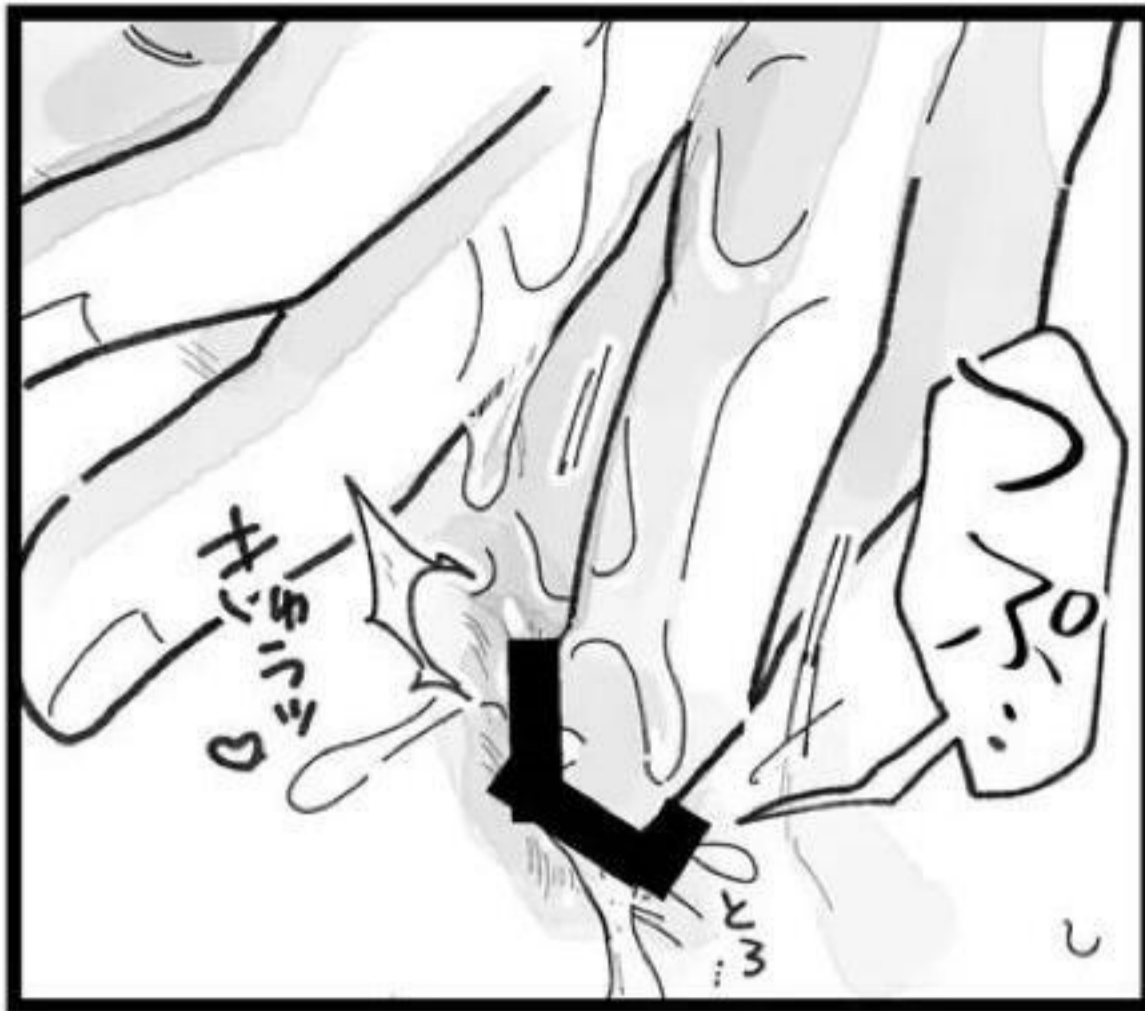


...あ、  
聡実くん俺のマネして  
歯みがいたんや

かわいいなま

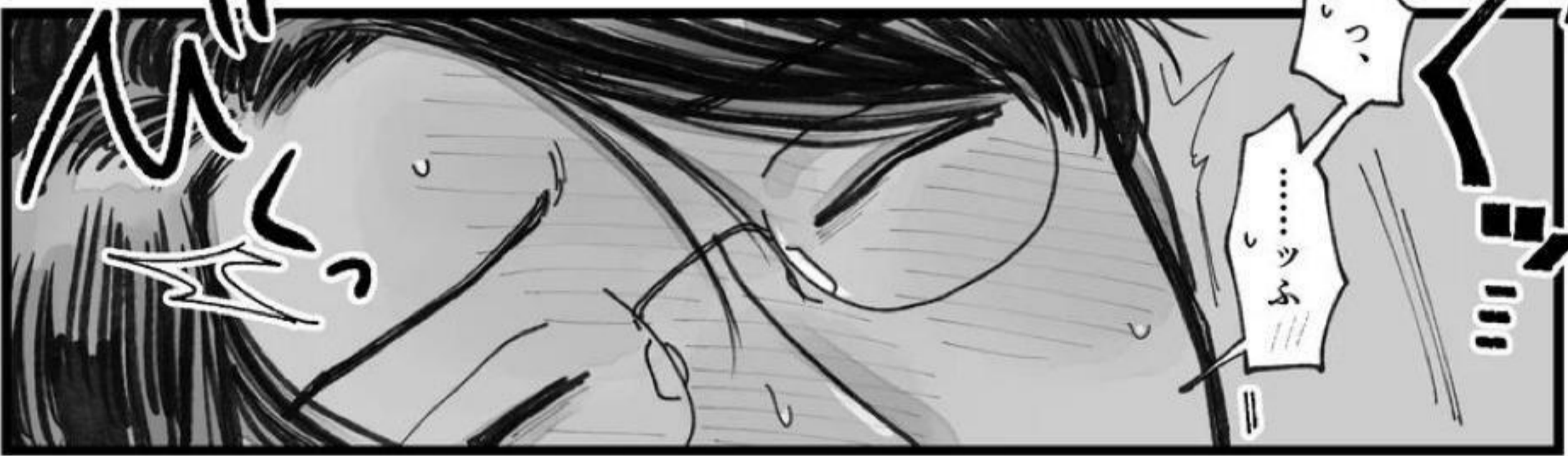
ハニカキ粉の  
味する...

ちゅっ  
ちゅっ  
♡♡



















もう挿れて  
……

お願いやから……ッ



なあ……



……もー  
そうやって言うたら  
俺が言うこと聞くと  
思ってたんのやろ？

焦らなくても  
時間はたっぷり……

っ焦ってる  
とかやない……っ



僕がもう

我慢できないって  
言ってるねん……ッ

狂児の、

早く、  
挿れてほしくて……ッ

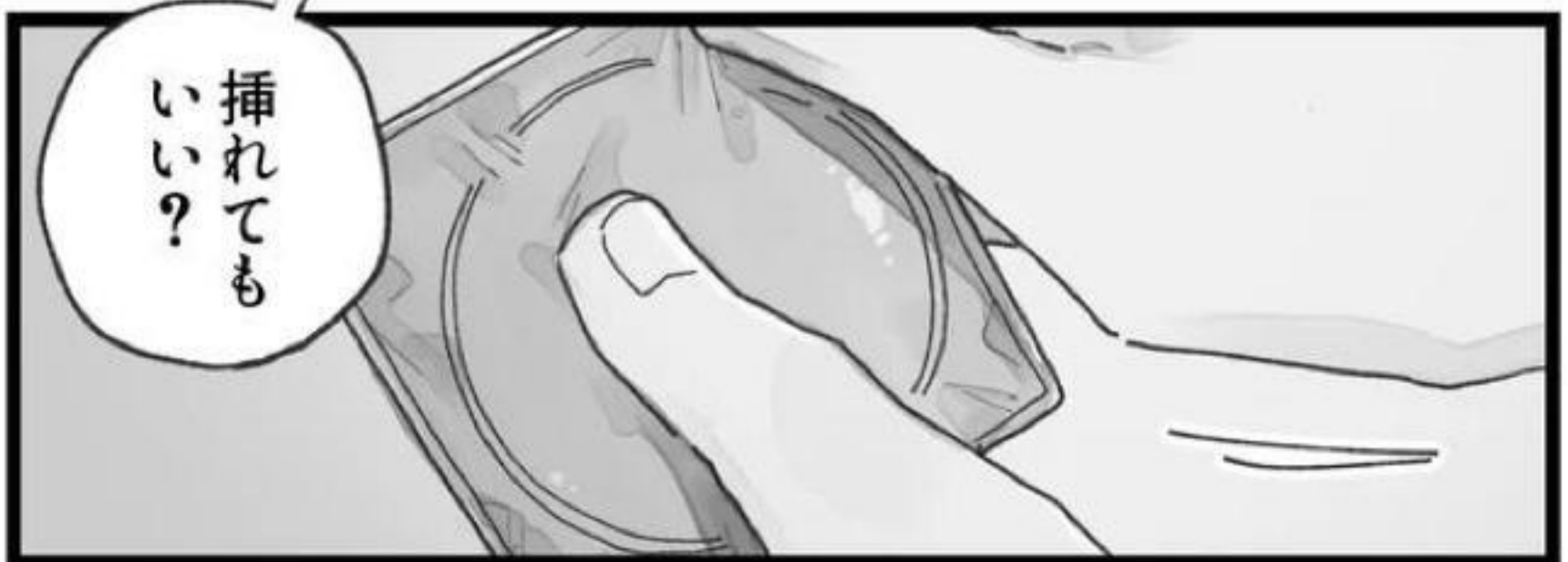


俺も早く、  
聡実くんナカ  
入りたいわ



ほんまに無理せんって  
約束できる？

ちゃんとして  
痛かったらすぐ  
教えてくれる？



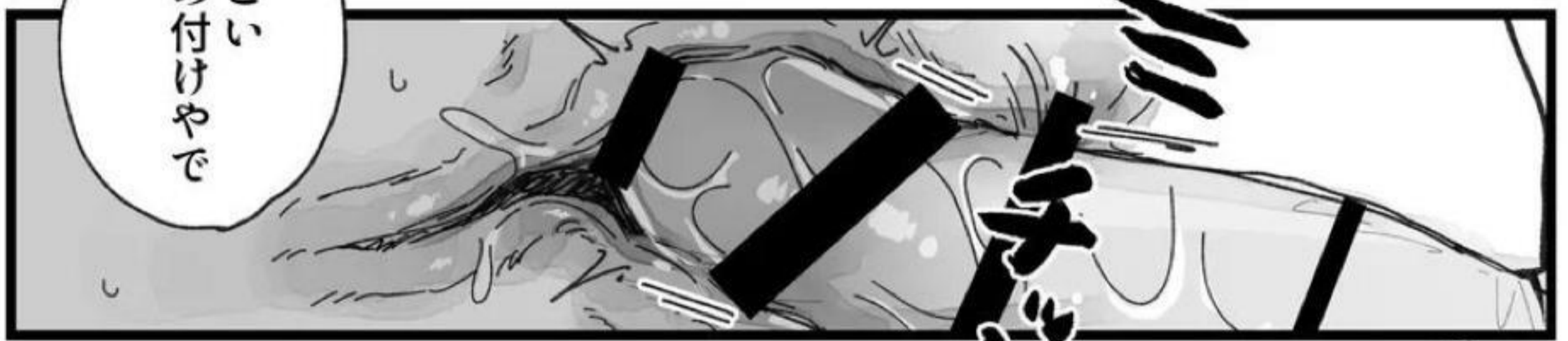
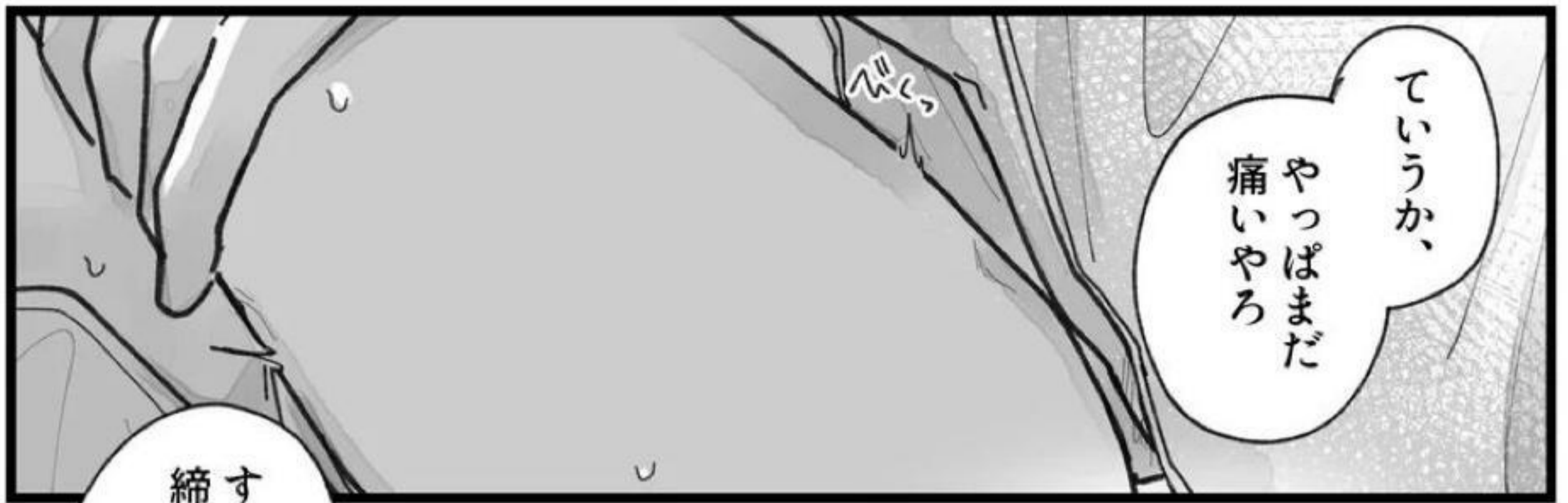
...なら、せやな

余裕なくて  
ごめんな

挿れても  
いい？













聡実くん

今から一旦抜いて、  
ローション足して  
もっかい挿れるよ

そんで軽く動いて  
慣らしてこ思うん  
やけど大丈夫？

ん、わかった！

っ、う…

さっきより、  
スムーズに入るな…っ

うん

聡実くんのお尻が  
俺の形覚えてて  
くれたんやなあ…

そっ、うもん、なんや





だっ...  
大丈夫...!!

あっ  
うんめん

もっ...  
奥、  
いける...っ

...  
ほんまに??

は、は...  
うん...

うん...





ここまで入ったから  
安心して……

急にやばく  
なってきたかも……

っは……  
ほんまっ？



やば、ごめん  
……俺

さっきまで聡実くん  
傷つけないか心配  
すぎて

正直興奮とか  
忘れてたんやけど……

っ……



あー……

ごめんキモいと  
思ってくれてええけど

聡実くんナカ  
狭くてあったかくて……  
たまらんわ

こんな狭いところで  
俺のこと受け入れて  
くれるんやなあ

はっ……



それもそう  
やな！

ごめんね俺が  
でかいせいで

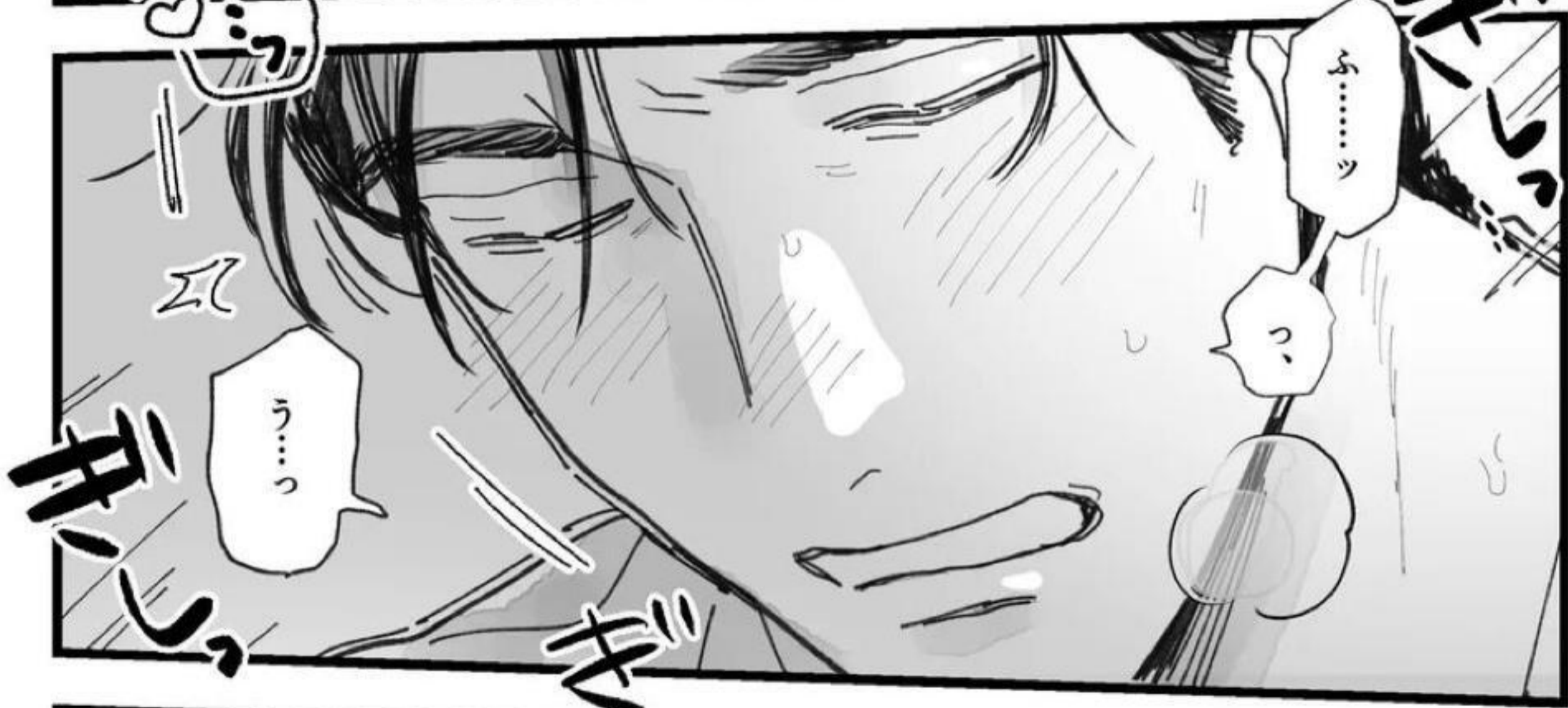
うるさ……

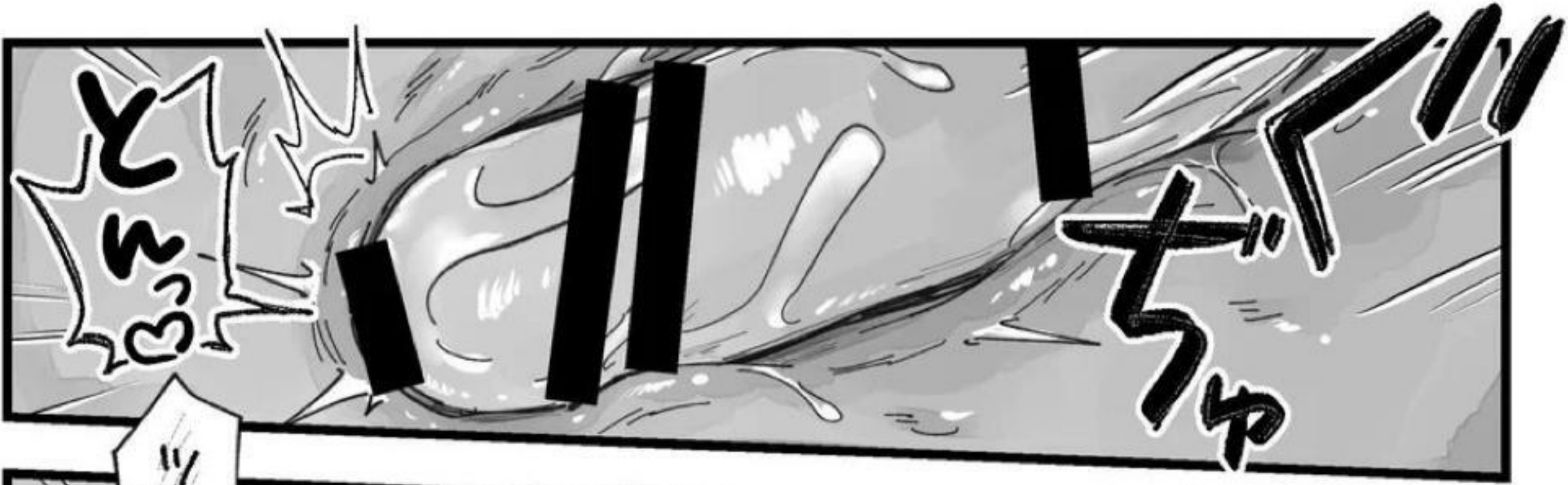


……僕が  
狭いっていうか

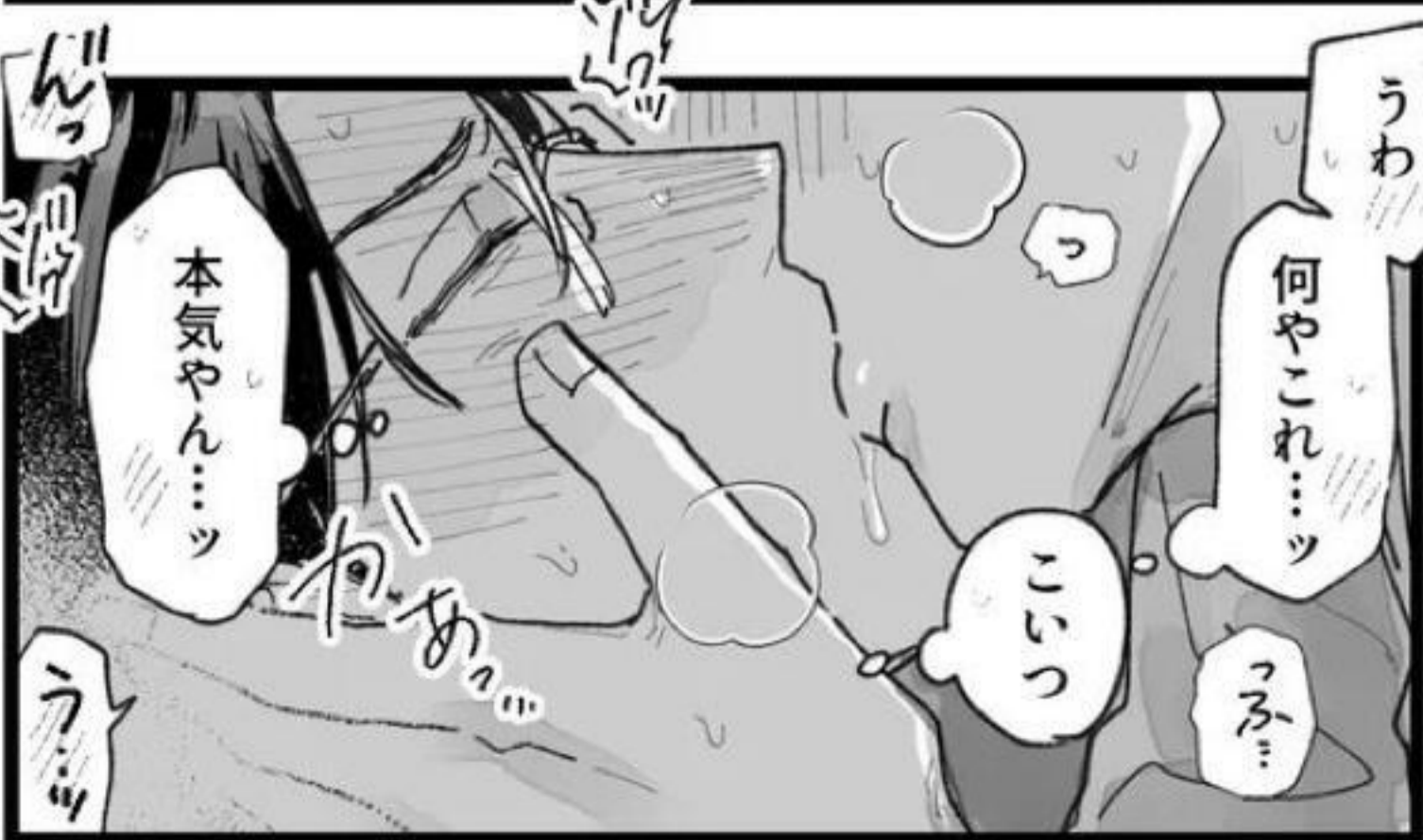
狂児さんのが  
でっかいだけ  
やないの



















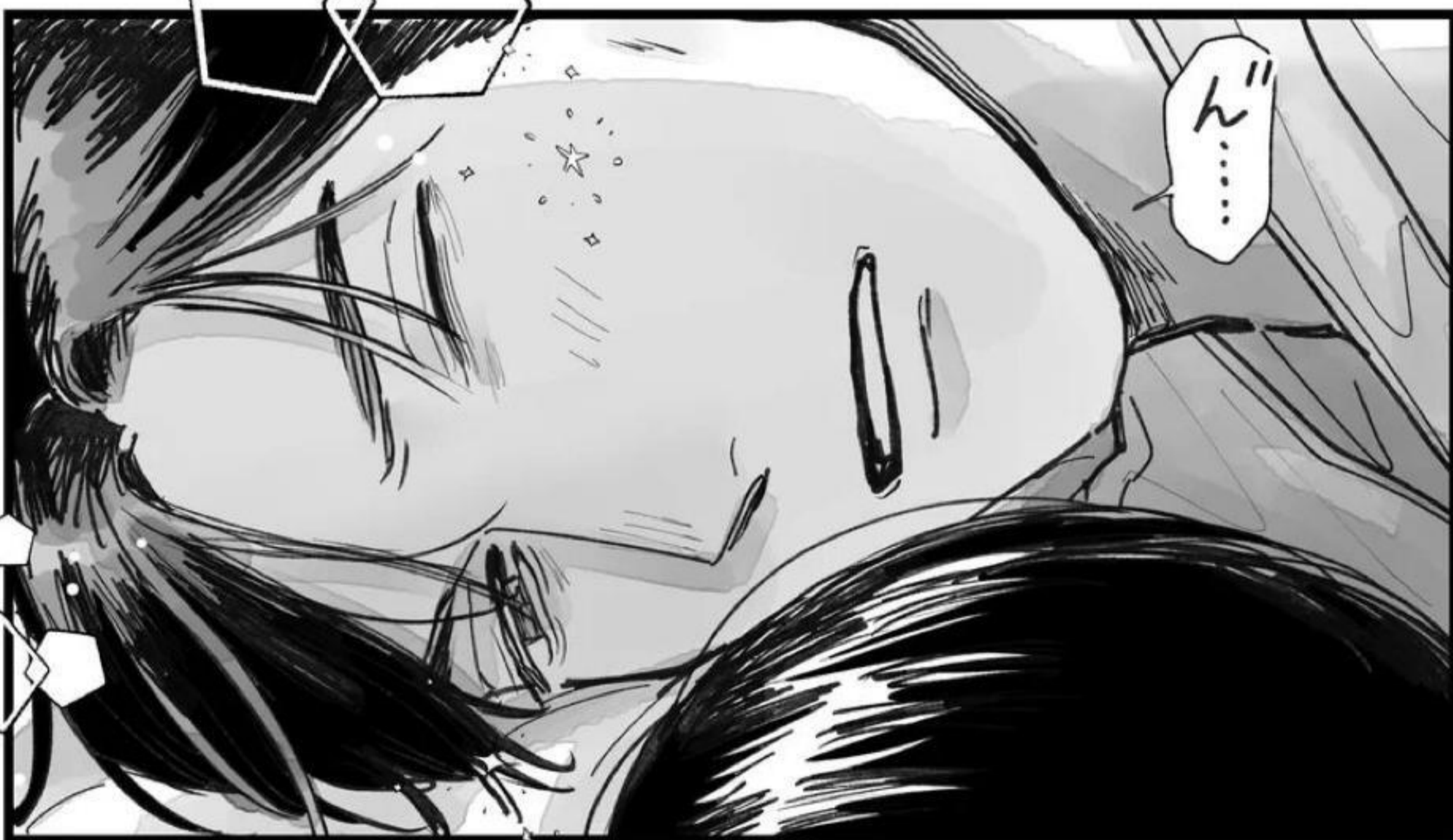
……かわいかったな……(反芻)

なんなんもう……  
俺は聡実くん大切にできれば  
それで良いのに  
しっかり  
煽ってくるやん……

困るわもう……  
ほんま怖……

てか俺余裕なさすぎたよなやっぱ  
キモいと思われてない？大丈夫？









……何？  
抱かれる？

…なわけないな。

多分聡実くん  
俺に触りたいんや  
……。

…



ちよっ…  
待って、

…今何時？

ちゅっ

ちゅっ



ちゅっ

ちゅっ



どこで覚えて  
きたんそれ……

ツ、  
なあ

ちゅっ

ちゅっ



7時前

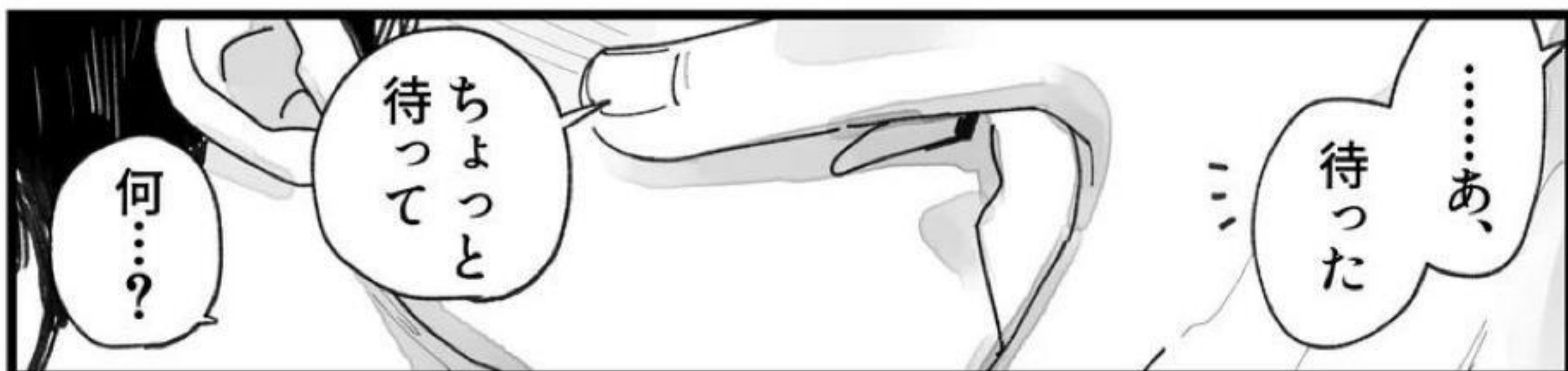
っ…すごいな

聡実くん  
朝から元氣や

ちゅっ



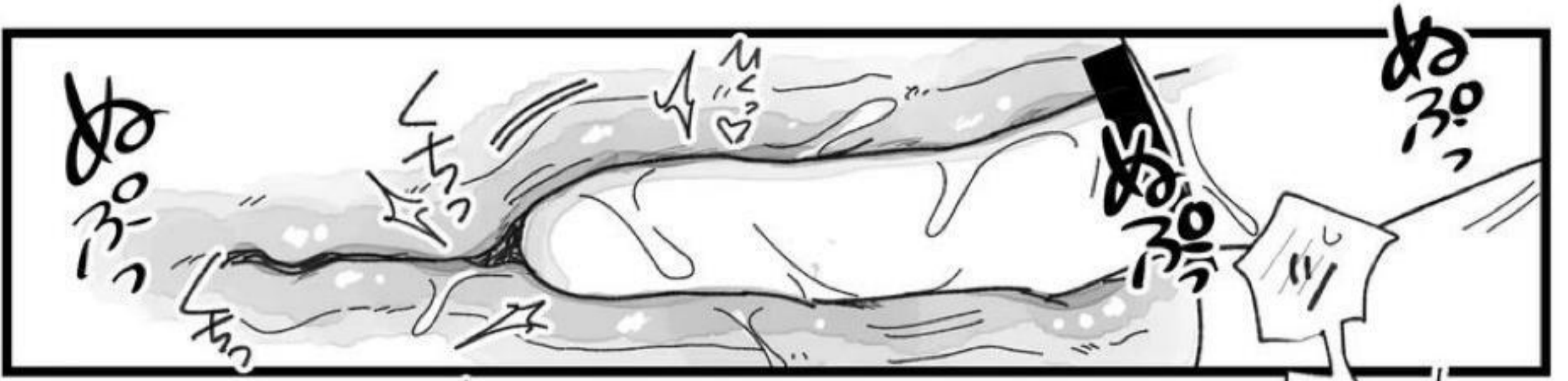
















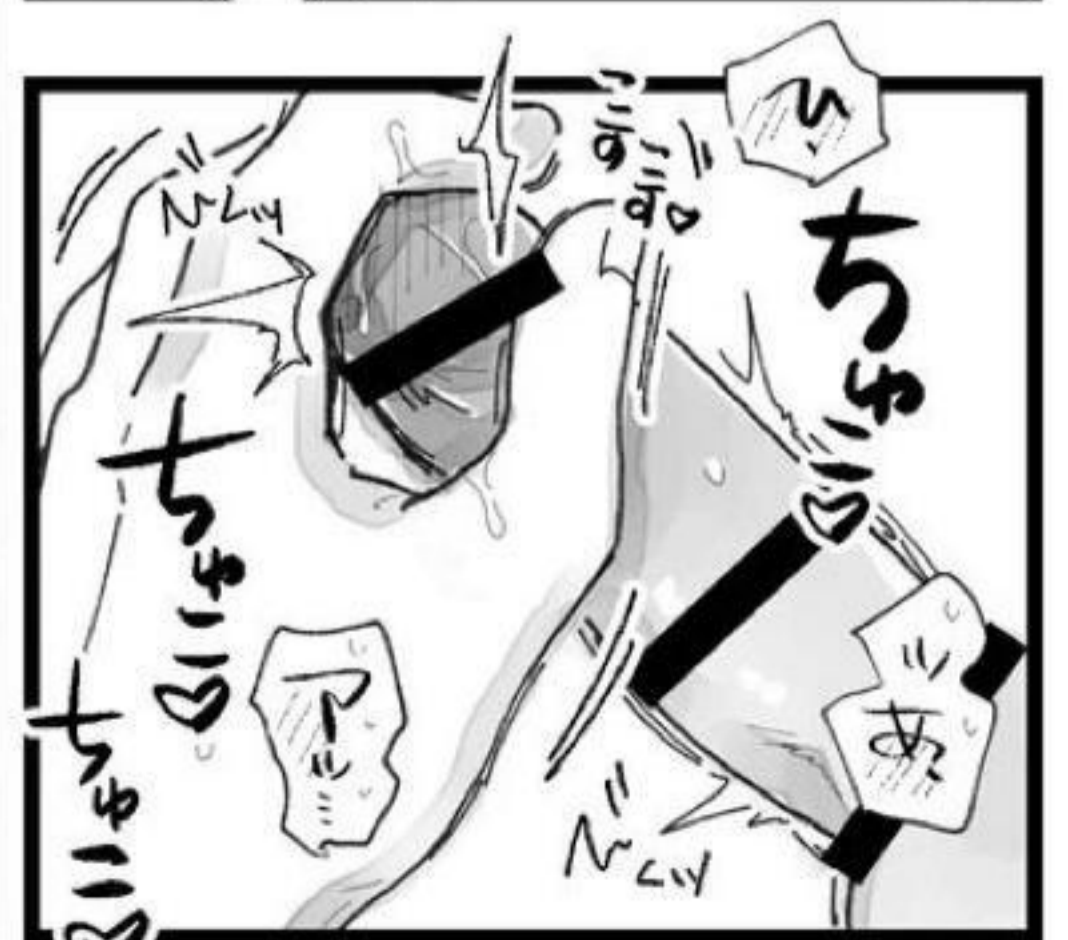
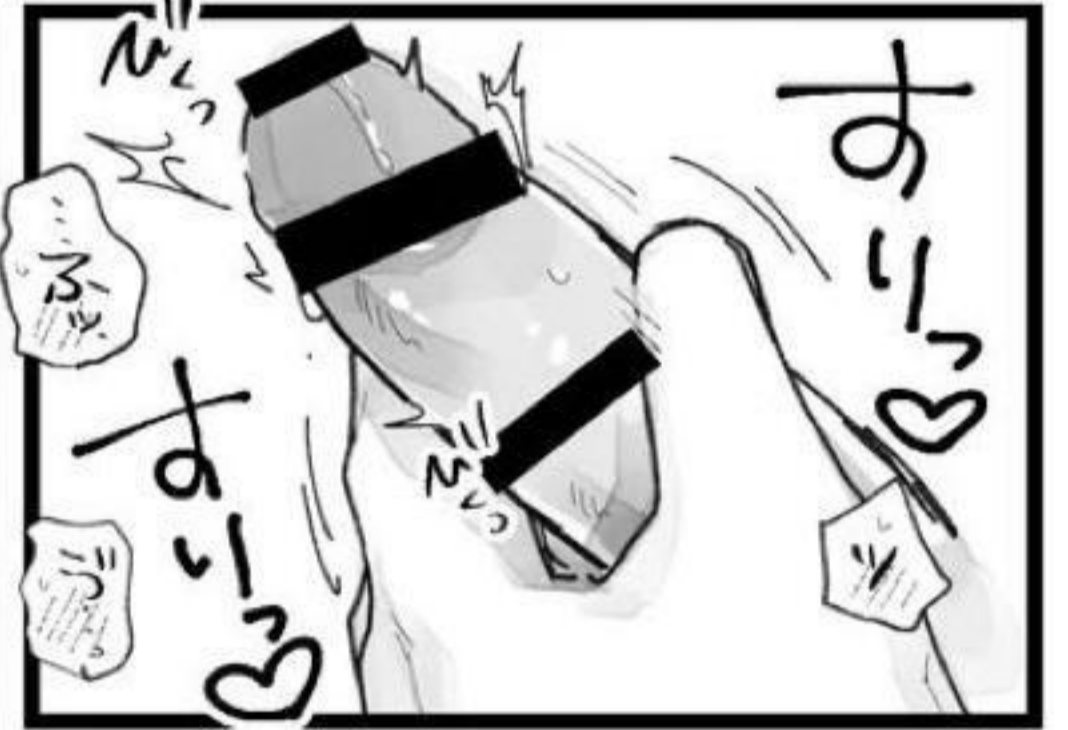
















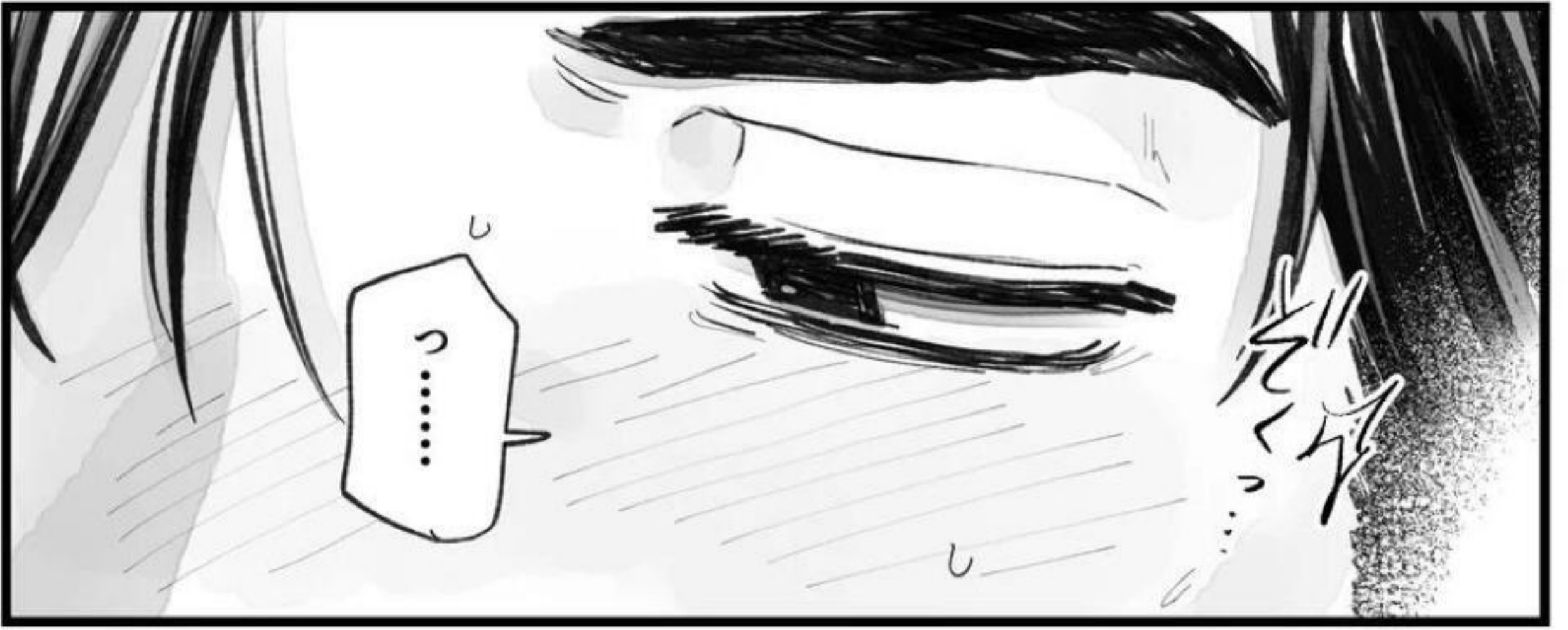


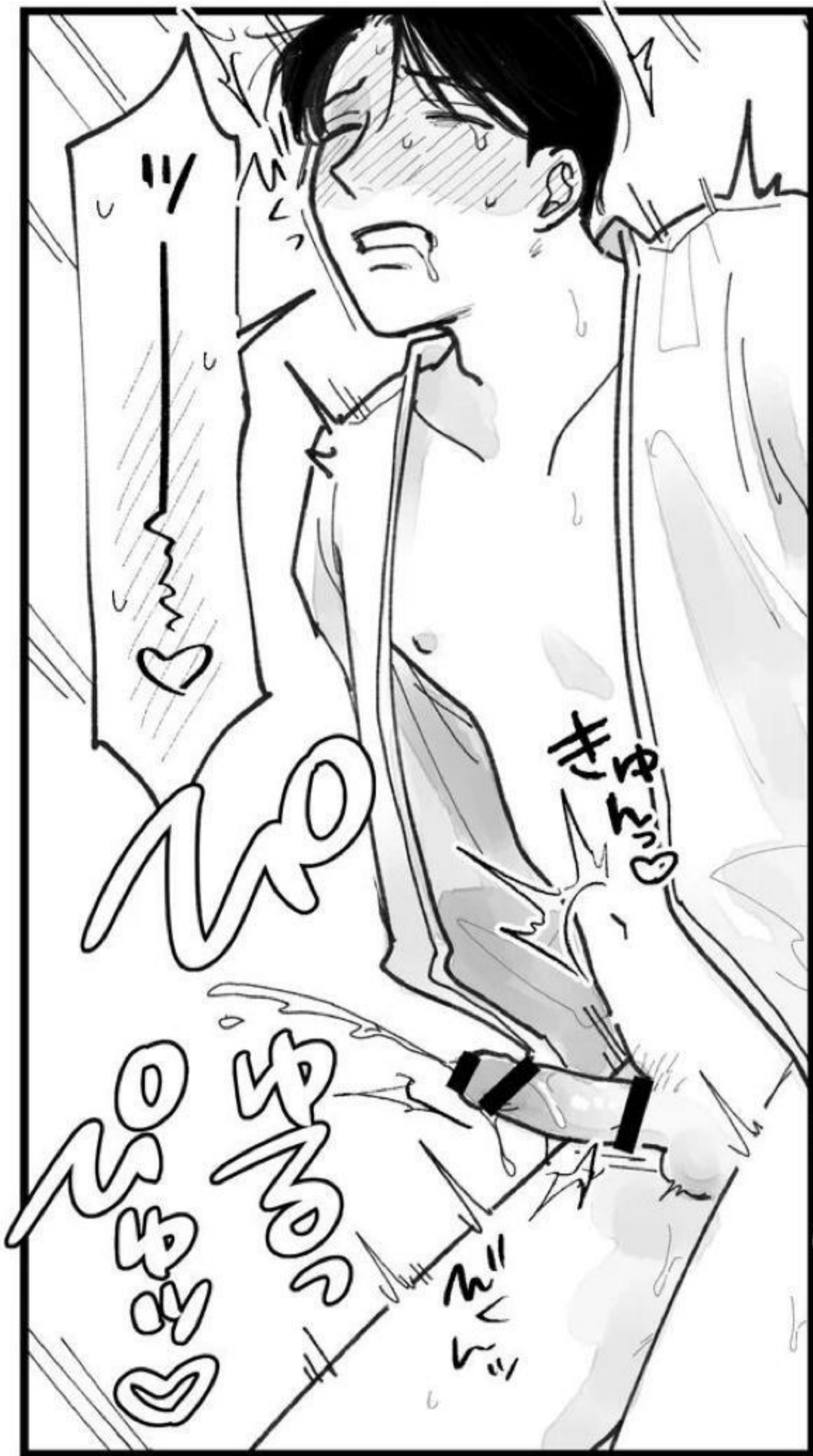


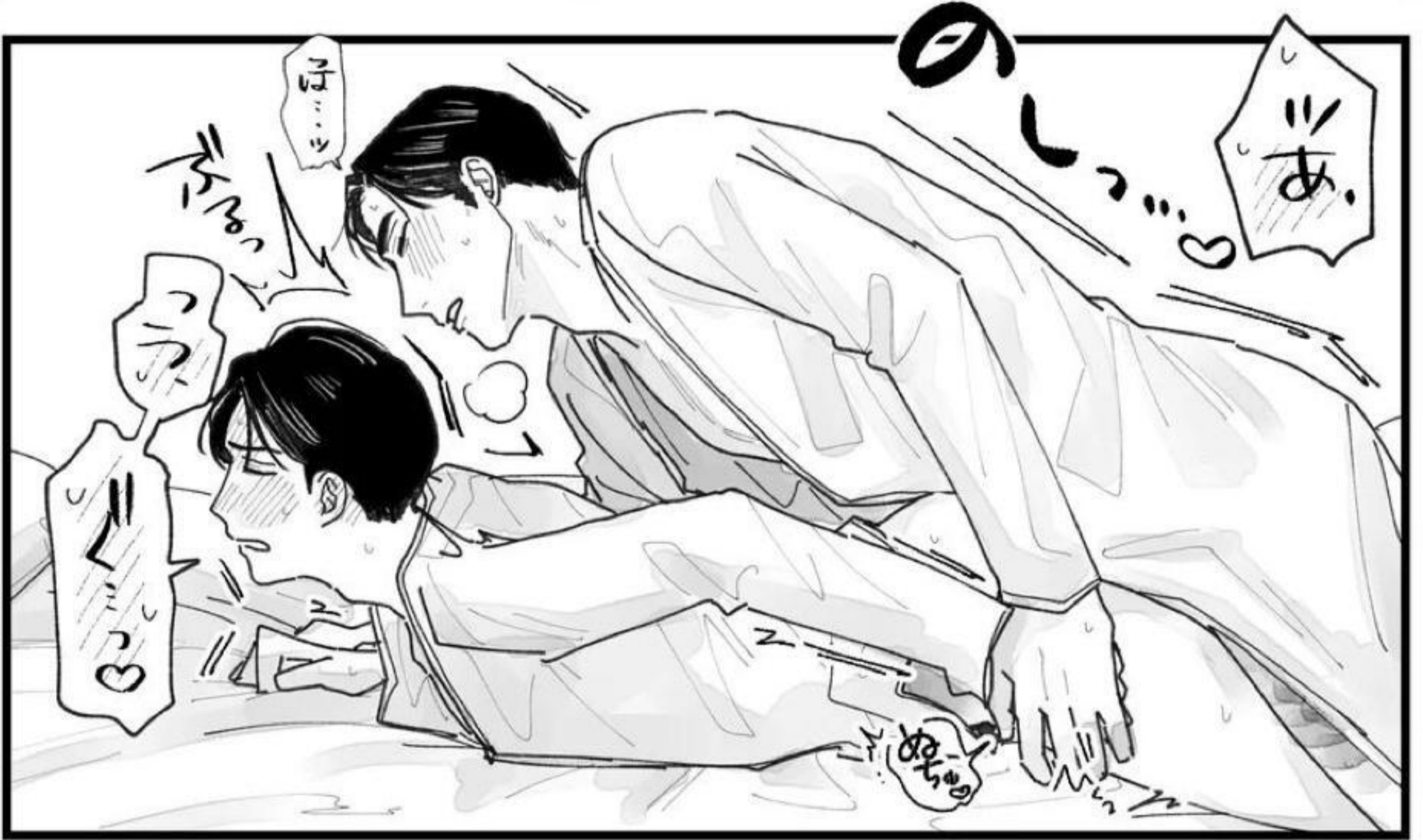


















うっさいな……ッ

わかるやろッ

勝手に口から  
出てまうねん



……ッ

えっ……



じゃあ俺は  
どうしたらええの？

聡実くんがやだやだ  
言っても無視するん？

……ッ  
そんなん自分で  
考えろや……

えっ



うん？

僕が足、  
閉じたのに

狂児さん、っ  
何も言わんと勝手に  
足開かせてきて……

はっ……  
そんなんした？

っ、ソファで……ッ

あ……



あれで…

僕、

はあ…？

興奮  
しました…っ



ッ…

はあ……ッ？

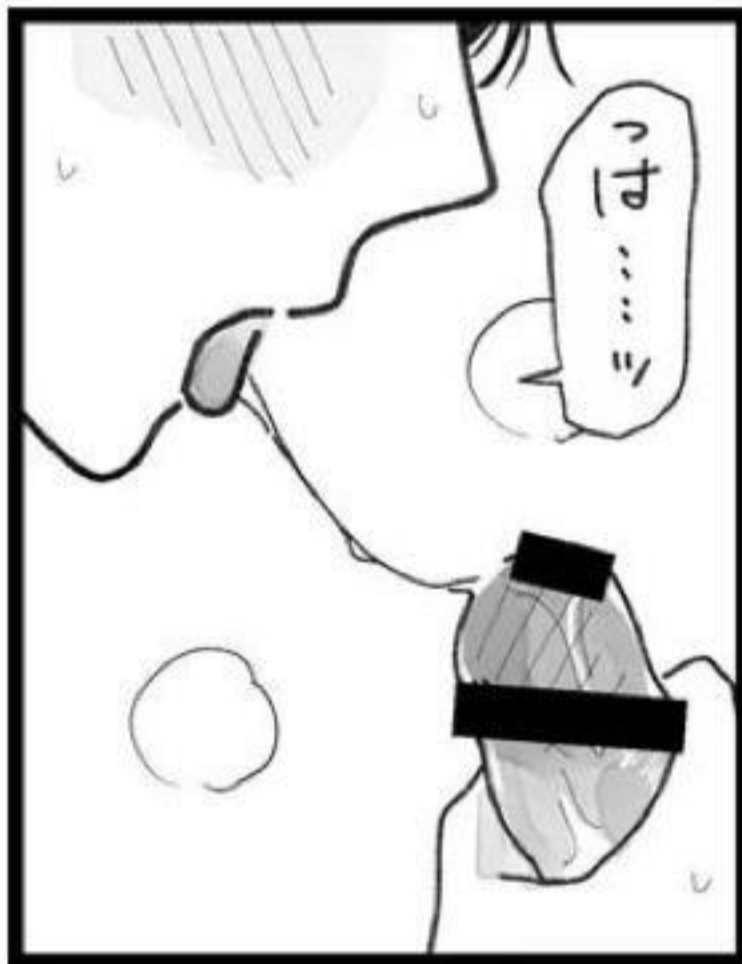
はあ…ッ









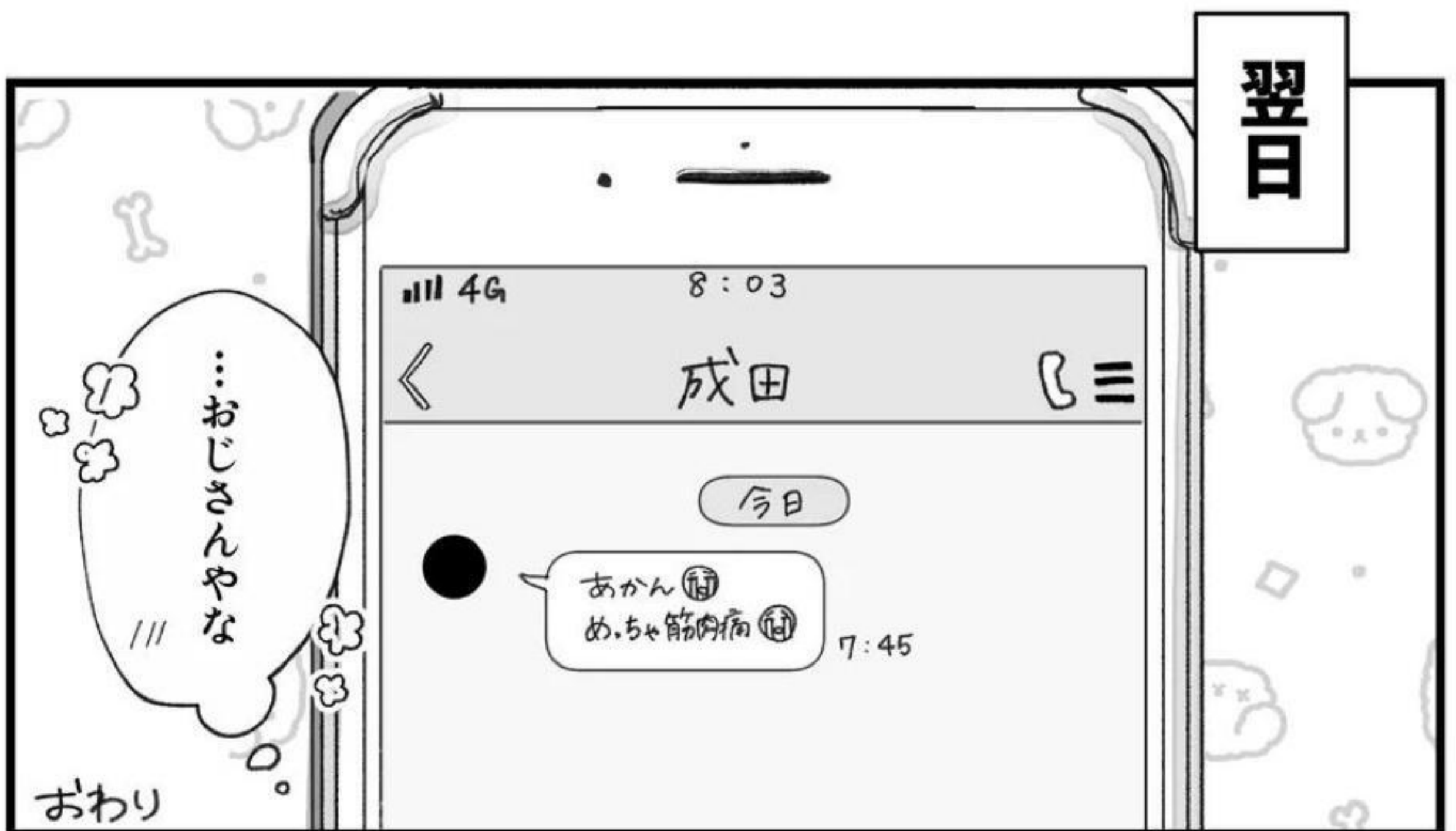




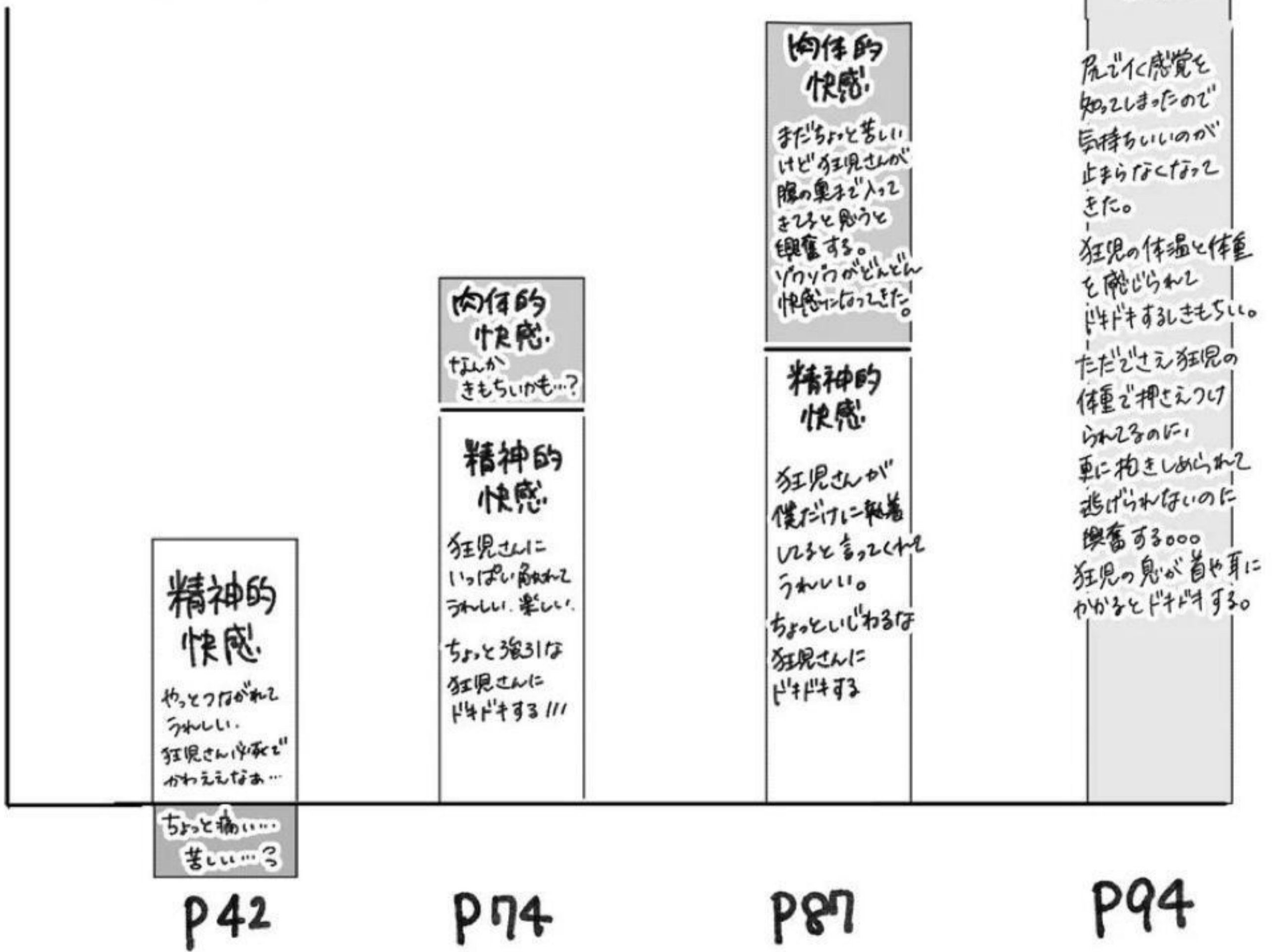








# 〈 聡実くんの快感推移 〉



# あとがき

この度はこちらの本をお手にとってくださり  
ありがとうございます。現在まだ2時間前  
を切ったところでこれを書いています。(限界すぎる)

今回ノーシ数が多すぎてまともな原稿スケジュール  
をたてられず、とてもギリギリな本になってしまい  
申し訳ないです。ノーシによっていい話が全然  
ちがったりするので読みにくい本になっているかも  
しれません。

今回は描きたいものを色々つめておきいて  
補足したい部分が多すぎるので、次ノーシで軽く  
解説を入れていきます。とりあえず狂児と野実くん  
がお互いのことを大切に思っていることが伝わら  
ばうれしいです。

本当は狂児のいかに描くつもりでいろいろ用意していた  
のですが話の流れ的に結局背中を映すタイミングが  
ありませんでした。…次こそしっかり全体を描きたい  
です。

次回は毎明け頃に新刊出たい気持ちがあるので  
機会がありましたらまたお手に取っていただけると  
うれしいです！

モチハ

P16~18 ホテル向かうまでの間にドンキで  
ジュエローション入手します。

P22 聡実くんがシャワー浴びる間、狂児は  
ジュエローション開封したりクッションの位置  
調整したりします。よゆうぶつてきて  
スマートに進めたくて割りとしっかり準備して  
イメトレもしてる。結構緊張します。

P45 狂児は何も言わず振いたら聡実くんが  
ショック受けると思っわざわざわざ一回宣言して  
からちんちん振ります。

P58 暗転中、聡実くんが寝た後狂児が  
電気消します。

P61 狂児がぐっすり寝る間に聡実くんが色々  
いじって明るくします。

P100 聡実くんのうらみ刃に痕残り、そのことに  
気付いて狂児は「どうして怒るかな」と言います。

終始 狂児は聡実くんを痛い思いさせたくなくて  
必要以上にビビってる。  
けど聡実くんの目的にはもっと強引に二らわらな  
がうれしいと思っます。

ご連絡はこちらへ →  
感想いただけますと  
とてもうれしいです!



『From Midnight』

発行日：2024/10/27

印刷所：日光企画様

連絡先：faith1418forever@gmail.com

Twitter：@vermeeeeer\_10

発行者：寝落ちもちもち／モチベ

この本は非公式ファンブックです。  
各公式関係者様とは一切関係ございません。

無断転載は一切禁止としております。  
不要となった際は適切な方法で処分いただきますよう  
よろしく願いいたします。